

Kubernetes: アプリケーションの実行

～Pod、ReplicaSet、Deploymentでアプリを動かしてみよう！～

所要時間: 約30分

対象者: Kubernetesの基本を学びたい方、アプリケーションのデプロイ方法を知りたい方

このスライドのゴール

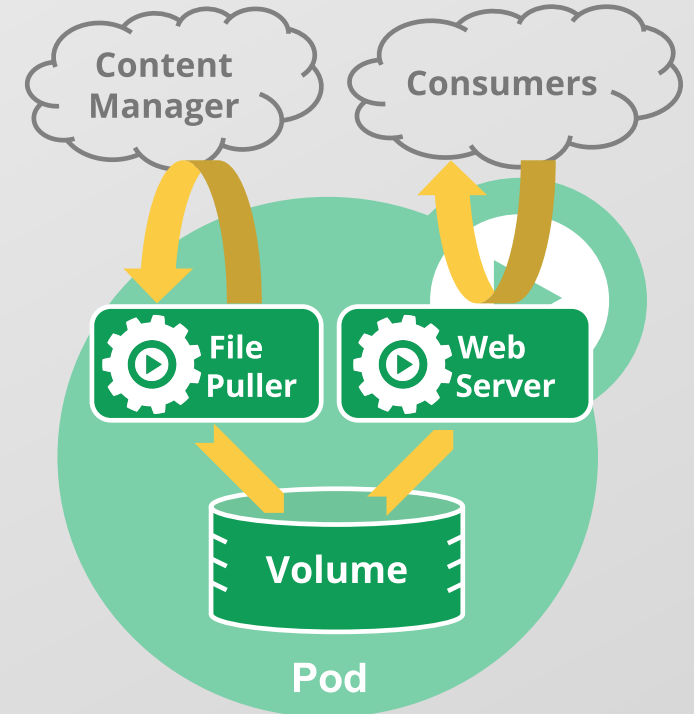
Kubernetesの主要なワークロードリソースを理解する

- Pod: コンテナの基本的な実行単位と特徴
- ReplicaSet: 複数のPodを維持する仕組み
- Deployment: アプリケーションの無停止更新と管理
- StatefulSet/Job: 特殊な要件を持つアプリの実行方法

Podとは？

Pod: コンテナの家 🏠

- Kubernetesの最小単位
- コンテナを入れる「箱」みたいなもの
- 同じPodの中のコンテナは仲良し（ネットワークやストレージを共有）



Podの特徴：コンテナの同居生活

- 同じIPアドレスで暮らす
 - 同じPodの中なら `localhost` で会話できる
 - 外からは1つのアプリとして見える
- 一生は短い
 - 作られて、動いて、終わる
 - 終わったら新しいPodが作られる

実際のPod定義を見てみよう 🙄

```
apiVersion: v1
kind: Pod
metadata:
  name: nginx-pod
  labels:
    app: nginx
spec:
  containers:
  - name: nginx
    image: nginx:1.14.2
    ports:
    - containerPort: 80
```

シンプルでしょ？でも、これだけだと...

問題：Podが1つだけだと... 🤖

- Podが落ちたらアプリが使えなくなる
- トラフィックが増えたら対応できない
- 更新するときには一旦止める必要がある

→ どうすればいい？

ReplicaSetとは？

ReplicaSet: Podのコピー機

- 指定した数のPodを常に維持
- Podが落ちたら自動で新しいのを作る
- スケーリングも簡単！

ReplicaSetの定義例

```
apiVersion: apps/v1
kind: ReplicaSet
metadata:
  name: nginx-replicaset
spec:
  replicas: 3  # 3つコピーを作る
  selector:
    matchLabels:
      app: nginx
  template:
    metadata:
      labels:
        app: nginx
    spec:
    ~~~省略~~~
```

Deploymentとは？

Deployment: アプリの運営マネージャー

- 複数のPodを管理
- 無停止で更新できる
- 問題があったら元に戻せる
- ReplicaSetの上司的存在

Deploymentの特徴：賢い管理

1. レプリカ管理

- 指定した数のPodを維持
- スケーリングも簡単
- Podが落ちたら自動で再起動

2. 更新戦略

- ローリングアップデート（デフォルト）
 - 1つずつ新しいバージョンに更新
 - サービスは止まらない！

Deploymentの定義例

```
apiVersion: apps/v1
kind: Deployment
metadata:
  name: nginx-deployment
spec:
  replicas: 3
  selector:
    matchLabels:
      app: nginx
  strategy:
    type: RollingUpdate
    rollingUpdate:
      maxSurge: 1      # 最大で何個多く作れるか
      maxUnavailable: 1 # 最大で何個止められるか
  ~~~省略~~~
```

ReplicaSet vs Deployment: どっちがいい？ 🤔

機能	ReplicaSet	Deployment
基本的な役割	単純なPodの複製のみ	ReplicaSetを管理
更新機能	更新機能なし	無停止で更新可能
ロールバック	ロールバック機能なし	問題があれば元に戻せる
履歴管理	履歴管理なし	更新履歴を保持
運用面	基本的に直接使用しない	実際の運用で最も使用される

→ Deploymentの方が圧倒的に便利！ ReplicaSetはDeploymentの内部で使われる存在

StatefulSetとは？

StatefulSet: 順序と一意性が重要なアプリのためのコントローラー

- 順序付きのデプロイ
 - Podに一意の識別子 (0, 1, 2...)
 - 順番に起動・停止
 - データベースなどに最適
- 永続的なストレージ
 - 各Podに専用のストレージ
 - Podが再作成されてもデータは保持
 - 一意のネットワーク識別子

StatefulSetの定義例

```
apiVersion: apps/v1
kind: StatefulSet
metadata:
  name: mysql
spec:
  serviceName: "mysql"
  replicas: 3
  template:
    spec:
      containers:
        - name: mysql
          image: mysql:5.7
  volumeClaimTemplates: # 各Podに永続ストレージを割り当て
    - metadata:
        name: data
      spec:
        accessModes: [ "ReadWriteOnce" ]
```

Jobとは？

Job: 一度だけ実行するタスクのためのコントローラー ⚡

- バッチ処理に最適
 - 一度だけ実行するタスク
 - 成功するまで再試行
 - 並列実行も可能
- CronJobとの組み合わせ
 - 定期的なバッチ処理
 - スケジュール実行
 - 履歴管理

Jobの定義例

```
apiVersion: batch/v1
kind: Job
metadata:
  name: batch-job
spec:
  template:
    spec:
      containers:
      - name: batch
        image: batch-image:latest
        command: ["/bin/sh", "-c", "echo 'Processing...' && sleep 30"]
      restartPolicy: OnFailure
  backoffLimit: 4 # 失敗時の再試行回数
```

CronJobの定義例

```
apiVersion: batch/v1
kind: CronJob
metadata:
  name: scheduled-job
spec:
  schedule: "*/5 * * * *" # 5分ごとに実行
  jobTemplate:
    spec:
      template:
        spec:
          containers:
            - name: scheduled
              image: scheduled-image:latest
              command: ["/bin/sh", "-c", "echo 'Running scheduled task...'"]
          restartPolicy: OnFailure
```

よく使うコマンド集 🛠️

デプロイする

```
kubectl apply -f deployment.yaml
```

スケールする (5個に増やす)

```
kubectl scale deployment <deployment-name> --replicas=5
```

イメージを更新する

```
kubectl set image deployment/<deployment-name> <container-name>=<new-image>
```

問題があったら元に戻す

```
kubectl rollout undo deployment/<deployment-name>
```

実践的なTips

1. リソース制限は必須

- CPU/メモリの制限を設定
- 他のアプリに影響を与えないように

2. ヘルスチェックを設定

- アプリが動いているか確認し、問題があれば自動で再起動

3. 更新戦略を最適化

- アプリの特性に合わせて設定
- 安全に更新できるように

まとめ：Kubernetesの基本構成 🎓

- Pod: コンテナの家
- ReplicaSet: Podのコピー機
- Deployment: アプリの運営マネージャー

これらを組み合わせて、安定したアプリ運用を実現！

参考リンク

- [Kubernetes公式ドキュメント](#)
 - [Pod](#)
 - [ReplicaSet](#)
 - [Deployment](#)
- [Kubernetes チュートリアル](#)
- [Kubernetes 用語集](#)